

Top Message	環境・CSR本部長 メッセージ	特集1 中長期環境ビジョン	特集2 Digital Co-creation	第8期富士通グループ 環境行動計画	Chapter I 社会への貢献	Chapter II 自らの事業活動	環境マネジメント	データ編
事業所における温室効果ガス(GHG)排出量の 削減・エネルギー消費原単位の改善	データセンターのPUE (電力使用効率)改善	再生可能エネルギーの 利用拡大	サプライチェーンにおける CO ₂ 排出量削減の推進	輸送における CO ₂ 排出量削減	水使用量の削減	化学物質排出量の 抑制	廃棄物発生量の 抑制	

化学物質排出量の抑制

富士通グループのアプローチ

有害な化学物質の使用による自然環境の汚染と健康被害につながる環境リスクを予防するため、富士通グループでは約1,300種の化学物質を管理しています。

化学物質管理システム「FACE」を活用することで、各事業所での化学物質の登録・管理、化学物質等安全データシート(SDS)の管理、購買データや在庫管理と連携した収支管理を行い、化学物質管理の強化と効率化を実現しています。

2016年度の実績サマリー

第8期環境
行動計画の
目標
(2018年度末まで)

化学物質(PRTR)の排出量を
2012～2014年度の平均以下に抑制する。

(20.7トン)

2016年度
実績

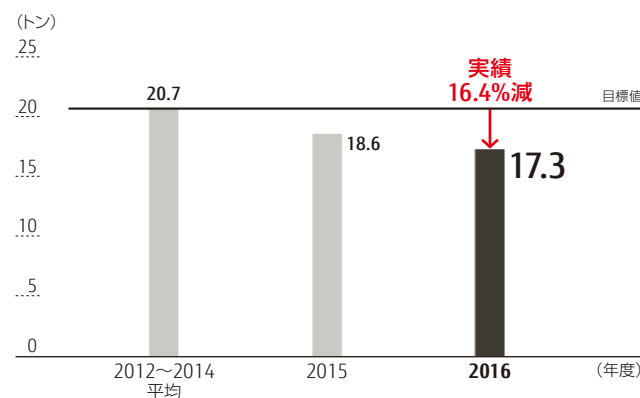
PRTR 17.3トン

2016年度の実績・成果

PRTR排出量の継続目標を達成

2016年度におけるグループ全体での化学物質排出量はPRTRが17.3トンとなり、第8期環境計画の目標値以下に抑制することができました。

国内PRTR排出量推移



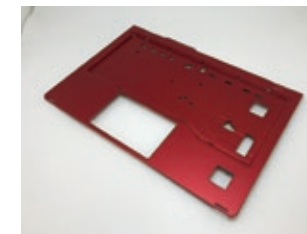
2016年度の主な活動報告

生産性歩留まり向上と原材料の見直しによるPRTR排出量の削減

富士通化成株式会社では、2016年度、パソコン筐体部の母材品質向上と工程内の作業環境の改善によって、塗装工程における生産歩留まりの向上を実現するとともに、使用塗料が削減したことで塗料内に含有するPRTR物質取扱量の減少にもつながりました。

PRTR物質含有量が少ない塗料原料への変更および、塗装コート膜厚の改善などの技術的施策により、化学物質管理においてトルエン(0.9トン)、キシレン(0.2トン)、エチルベンゼン(0.2トン)、PRTR排出量全体として1.4トン(7.0トン→5.6トン)削減することができました。

年度初めに、歩留まり向上による塗料使用量削減を目標として解決すべき課題を抽出し、改善策を実践したことによる効果と評価しています。2017年度もさらなる課題解決を目指し、PRTR排出量削減効果を実現していきます。



パソコン筐体塗装 品質改善



塗装工程 作業環境改善